

放課後等デイサービス東京YMCA P I T西早稲田自己評価評価表【事業者用】2019年度

2020年3月実施 6月公表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守した広さである。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			法令に従って職員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		対象としている利用者には、特に不自由はないと思われる。今後も状況により、適宜判断していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		児発管と児童指導員では実施しているが、関わる職員全員で定期的に行えるように改善していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			2020年2月～3月に実施。40家庭中 28家庭回収済(3月末現在)。職員会でシェアをし、評価・改善につなげる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		今回が初年度のため初実施。HP掲載と保護者に配布をして公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後、実施していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		内部・外部研修を実施している。前年度、予定通り進まなかったため年間予定に組み込み、回数を確保し、中身の充実を図る。
適切な 支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童・保護者との日々の会話や面談での情報に基づき、支援計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		各家庭より提出された心理検査結果などを用いている。今後は心理検査など含む、標準化したアセスメントツールを使用していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児発管・児童指導員複数で打ち合わせを重ねて立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			1年目なので今後、固定化しないように工夫していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		個々に対応した課題設定をしている。今後できるだけ、きめ細やかな設定を心掛けて支援できるようにする。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々の状況に応じて組み合わせている。個別・集団どちらの活動にも参加できるように計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		細かく内容確認の実施できない日もあったので今後は職員間で細かく、具体的に確認していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		日によって振り返り内容の程度に斑が見られた。今後は、振り返り表を作成したのでそれを用いて職員間で共有をしていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録を基に、月1回の全体職員会で共有・検証・改善につなげている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			実施しているが定期的な見直しができるように改善する。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、余暇の提供などを組み併せて、活動の幅が広がるように支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			守秘義務に則して参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		守秘義務の取り決めから、学校との直接のやり取りはしていない。送迎も実施していないので学校の情報は、保護者が情報源となっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在、該当者の受け入れがない。今後、必要であれば、整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		守秘義務の観点から、保護者からの依頼があれば行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		守秘義務の観点から、保護者からの依頼又は確認があれば行う。情報提供ができる旨は該当者に知らせている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		年度末に支援センターとの繋がりが出来始めた。引き続き、他専門機関との連携を深めていき、情報共有に努める。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	保護者の意向を踏まえ、今後、機会を作っていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		現在は参加していない。今後は、参加できるようにしていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		送迎時や電話などで共有をしている。利用者のみの参加の家庭への直接的な連絡を今後増やしていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	講演会の案内程度なので、保護者会などを通じて実施していく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に保護者に説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談のあった際には、丁寧に対応するように心掛け、助言、支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	2019年度は保護者会を実施できなかった。今後は実施予定。保護者間の連携も支援していく。

保護者への説明責等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		受付窓口、責任者を設け、契約時に説明している。PIT 教室の外のファイルにも掲載している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	2019 年度は不定期だったので、2020 年度は毎月発信予定。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		職員は誓約書を交わしており、取り扱いには、十分気をつけるよう努めている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		状況に応じて、配慮するよう心掛けている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	放課後等デイサービスとしては実施していない。今後、館内他事業との連携を進めていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	年度始めにハンドブックに概要を記載して各家庭に配布している。職員にも研修を行うようにしている。今後、コロナ感染症予防も含め、職員・保護者に周知徹底に努める。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に避難訓練を実施し、職員・利用者の動きを確認している。引き続き、非常時の対応がスムーズにできるよう努めていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部研修会への参加。内部でも外部研修のシェアや内部研修を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	現在においても身体拘束をするケースはない。「原則、身体拘束はなし」としているが、今後は必要に応じて説明及び計画に記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	定期的なおやつ提供もなく、現時点では、必要とする利用者はいない。今後、受け入れる場合の対応策は用意してある。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○

■厚生労働省 放課後等デイサービスガイドライン(自己評価表)使用